大好き図書館！秋の読書週間イベントが始まります！
（10月27日㈮～11月９日㈭）

開運！？おみくじ本
～今日の１冊をおみくじでいかが？～

おみくじを引いて運試しと、今日のあと１冊選び。どんな本が出てくるかは、あなたの運次第？

▶ところ　１階カウンター前

作家のデビュー作品が集結！

あの作家、あの作品の著者…代表作は知っているけど、デビュー作は何だっけ？

そんな作家たちのデビュー作品を集めてみました。

▶ところ　玄関横特集コーナー

みんなでブックレビュー

みんなの書評で本の性格診断をしよう♪

他の人のレビューを読んでも楽しめるかも！？

▶ところ　玄関前特設コーナー

おいでよ！としょかん!!

「本の世界にひたる午後～ビブリオバトルと読み聞かせ～」

オススメ本をプレゼンして、より多くの人に「読みたい」と思わせた者が勝つ、書評対決！とっておきの１冊を持って、いざ！バトル開始！

▶とき　10月29日㈰ 午後３時
▶ところ　１階ブラウジングコーナー
▶申込み　10月１日㈰から受付開始

※当日参加もできます。

図書リサイクル会

年数の経過した一般書や雑誌、英字新聞などを無料配布します。

本がなくなり次第、終了！

▶ところ　２階会議室

※開館から閉館１時間前まで。

新刊情報

あかつきもりのルピとルナ
ハロウィーンのおきゃくさま
みうらなお／作・絵
国土社

ハロウィーンが近づいたあかつきもりでは、森のおくに住むまほうつかいのうわさでもちきり。月が明るくかがやく夜、ルピとルナ、森のなかまたちは、まほうつかいさがしのぼうけんに出かける。そこで待ちうけていたのは…。

おじいさんに聞いた話
トーン・テレヘン／著
長山さき／訳
新潮社

ロシア生まれの祖父は、祖母にいくらとめられても、死をめぐる話、人生の悲惨と理不尽をぼくに語り続けた…。鎮魂の思いがこめられた、宝箱のような掌篇小説集。

こうやって、考える。
外山滋比古／著
ＰＨＰ研究所

「無意識を使いこなす」「思考に休符を挟む」「着想を古典化する」「愛読書はつくらない」…。これまでの膨大な著作から、発想力を鍛えるためのヒントを集めた箴言集。“知の生産性”を高める150の言葉を紹介する。

おいでよ！おはなし会

□とき
10月14日㈯ 午後３時～４時
10月28日㈯ 午前11時～正午
□ところ
児童コーナー

10月の休館日（○…休館日）

日	月	火	水	木	金	土
1	○2	3	4	5	6	7
8	9	○10	11	12	13	14
15	○16	17	18	19	20	21
22	○23	24	25	○26	27	28
29	○30	31				

世界遺産登録を目指す「咸宜園」　－近世日本の教育遺産として－　22

地域の自然や文化遺産を活用した教育
朝日方面

問世界遺産推進室（咸宜園教育研究センター内）☎㉒０２６８

咸宜園では構内の授業だけでなく、ときには師弟同行して、ときには塾生たちだけで、しばしば周辺の山野、河川、神社・仏閣などに出向き、弁当を開いて食事をし、詩を詠むなどを行いました。

このように、塾の休日である「放学」、山歩きをした「遊山」が淡窓の日記などに見られます。

今号では、放学・遊山の地としての「朝日方面」を紹介します。

淡窓は、現在の朝日町にあった淡窓の詩友の蒲池久市（号・君逸）の家「栗園」を度々訪れています。主に詩会のために赴き、ともに漢詩を詠んでいます。初めて訪ねたのは、文化十四年（一八一七）八月、淡窓三十六歳の時です。その詩会での詩は『遠思楼詩鈔』に数首が載せられています。

久市は淡窓の門人ではありませんが、漢詩の指導を受けるため、淡窓のもとを度々訪問していて、詩友となったものです。代表作として「才田詩集」を残しており、淡窓はその序文を書き、日ごろは鋤鍬を携えて農事に従事し、倦めば飲酒したり詩を作る趣味の人で、田園詩人で有名な陶淵明のような「古風な詩人だ」と評しています。

天保七年（一八三六）三月に、久市から新築落成の宴に招かれ、午飯（昼食）が済んだ後、裏山に入って薇を採って、その後酒宴が開かれました。淡窓は「此の日天気清明、野遊宜しきを得たり」と述べています。久市の家の裏山には、朝日宮ノ原遺跡が広がり、その南端には、二基の前方後円墳・大分県史跡「朝日天神山古墳」があります。二号墳は、古墳時代後期において県内では最大級の規模を誇り、同史跡地内には朝日天満宮があります。

文政二年（一八一九）三月の詩会（東遊する久市の送別の詩会）で淡窓が詠んだ詩を紹介します。

君逸を送る
七折れの路　何ぞ窈窕たる
風蕭々として　密篠に鳴る
天寒く日暮れ　酒已に醒めたり
阪を登り阪を降り　人に逢ふこと少なし
草堂隠れて　老杉の陰に在り
孤鶴の一声　山月小なり

（七折れの曲がった路は、何という奥深いことであろう。風が吹いても淋しく、生い茂った篠が鳴っている。空は寒く日が暮れて、酒はすでに醒めてしまった。阪を登り降りして、人に逢うことはまれである。（君の）草葺の家が杉の古木の陰に見えてきた。一羽の鶴が一声高く鳴き、山の月は小さく見えた）

淡窓は、久市の家には、細く曲がりくねった坂道を通って行かねばならないと残しており、おそらく吹上観音に向かう七曲りの道を通ったものと思われます。

朝日天満宮
（現地写真）

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ

ひじきとそばのしょうが酢和え

そばには体をつくるために不可欠な必須アミノ酸の一つであるリジンが豊富に含まれています。リジンには疲労回復や免疫力の強化、カルシウムの吸収促進などの様々な働きがあり、健康のために欠かすことのできない栄養素です。

■材料■　（２人分）

長ひじき（乾）	4g	油揚げ	10g	A	酢	小さじ２	ごま油　少々
きゅうり	40g	干しそば	10g		薄口しょうゆ	小さじ１	しょうが汁　小さじ１/２
にんじん	20g				砂糖	小さじ１	

<作り方>
①ひじきは水に戻してさっと下ゆでしておく。
きゅうりは輪切りにする。
にんじんは千切りにしてさっとゆでる。
油揚げは油抜きをして短冊切りにする。
そばは５センチ程の長さに切ってゆでておく。
②Ａの調味料を合わせ、①と混ぜ、盛り付ける。

問健康保険課健康支援係☎㉔３０００